

東京大学・届出学生団体
「東京大学未来シナリオ研究会（UTFSA）」
（2021年S Semester・シラバス（案） Version1.0.）

2021年1月
原田武夫（IISIA）

1. 本件サークル「東大未来シナリオ研究会」の主旨

- (1) 本件サークルは2020年度S Semesterにおいて東京大学教養学部駒場キャンパスにて「学生の希望によって開設される全学研究ゼミナール」として開講される「未来シナリオとリーダーシップ」の姉妹団体として設立・運営されるものです。今後、後者の「ゼミ」は単位認定ゼミ/自主ゼミの形態を問わず、継続して実施する予定であり、そこで“情報リテラシー”を基礎的に学んだ学生たちが3年次以上に進学し、さらにその能力を伸ばすことが出来、またそれまでの間に邂逅した仲間たちとのネットワークを維持し、引き続き切磋琢磨出来る様な場となることを期待して設立・運営されるべきものです。
- (2) 届出学生団体という性質上、基本的にはゼミ長以下、東京大学在学の学生が主体的に運営するのが基本ですが、他方において“情報リテラシー”の更なる涵養という観点で株式会社原田武夫国際戦略情報研究所（IISIA）及び一般社団法人日本グローバル化研究機構（RIJAG）が無償の社会貢献事業という形で全面的に支援します。このシラバス（案）はそうした観点より講師である原田武夫（IISIA 代表取締役/RIJAG 代表理事）より提示するものです。
- (3) なお、この研究会は駒場キャンパスでの「基礎学習」を踏まえ、より高次な内容を、関連するこれまでの歴史的経緯をあくまでも踏まえつつ、同時に国内外における現実社会との接点を強く意識しつつ、学び取って行くべき場です。したがって参加学生の国籍は問わず、むしろ従来のカンパス・ライフに飽き足らない外国人学生も積極的に受け入れることとします（ただしフロア・ランゲージは日本語）。また立ち上げと運営開始となる時期がちょうど我が国とグローバル社会全体における大転換期に当たることから、従来 of 観念・枠組みにとらわれることなく、真のグローバル・リーダーシップを我が国をベースとしながら発揮する人財が羽ばたく場となることも強く期待しています。

2. 対象者及び開催スキーム

(1) 対象者

東京大学に在学する学生（学部・大学院、また国籍の別を問わない）。ただし教養学部「学生の希望によって開設される全学研究ゼミナール」として2020年度Sセメスターは開催されるゼミ「未来シナリオとリーダーシップ」を既に受講していることが望ましい。

また状況に応じて、東京大学の所属学生による主体的な参加・運営を基本原則としつつ、若干名の他大学・大学院の所属学生による参加を認めることがあり得る。

(2) 開催スキーム

(イ) 開催日時

2021年4月以降、原則として毎金曜日の5限（16:50～18:35）に開催する。ただし学生の都合等により随時変更する場合がある。

(ロ) 開催場所

東京大学本郷キャンパス内の適当施設内会議室を留保し、都度利用する。
（※ただし大学当局により同会議室がパンデミック等を理由に禁止されている期間中はZOOMなどの動画会議システムを用いて開催する）

(3) 運営要員

IISIA/RIJAGよりTA1名（社会貢献事業担当）が専任要員として担当する他、参加学生の中でサークル長1名及びサブサークル長1名を選任する。

(4) ソーシャル・メディアの活用

Facebook上でクローズドなグループを作成し、それを通じた連絡を行う。

(5) 届出に際しての担当教官

鈴木寛・東京大学公共政策大学院教授

3. シラバス（案）（*Sセメスターのみ記載）

（*参考文献については下記のものだけではなく、都度提示する予定。また第3講以降はアクチュアルな公開情報より都度ピックアップし、「今後」について考えるショート・セッションを設ける）

●第1講（2021年4月2日（金））「インストラクション1」

イントロダクションも兼ねて直近のグローバル・イシューについて分析し、「これから」についての論点につき議論する。

●第2講（2021年4月9日（金））「インストラクション2」

同上

- 第3講（2021年4月16日（金））「グローバル・シナリオの世界1」
米国家インテリジェンス長官（DNI）公式HP記載の「Global Trends」を取り上げ、その概要とそこから読み取るべき米国の真意と戦略について議論する。
（参考：<https://www.dni.gov/index.php/global-trends-home>）

- 第4講（2021年4月23日（金））「我が国の近世思想1」
「音義説」を分析するにあたり、出発点としての論点を踏まえることを目的に豊田国彦『日本人の言霊思想』（講談社学術文庫）を輪読する。

- 第5講（2021年5月7日（金））「グローバル・シナリオの世界2」
シェル社公式HP記載の未来シナリオを取り上げ、その概要とそこから読み取るべき英国の真意と戦略について議論する。
（参考：<https://www.shell.com/energy-and-innovation/the-energy-future/scenarios.html>）

- 第6講（2021年5月21日（金））「我が国の近世思想2」
さらに「音義説」の概観を把握するため、豊田国彦『言霊信仰』（八幡書店）を輪読する

- 第7講（2021年5月28日（金））「グローバル・シナリオの世界3」
米軍による未来シナリオ作成の経緯を探るべく、米空軍が1996年に策定したものを取り上げ、その真意と戦略、さらには事後的に生じた事実と合致していたのかを検証する。
（参考：<https://www.airforcemag.com/article/1296study/>）

- 第8講（2021年6月4日（金））「我が国の近世思想3」
「音義説」についてまずは真正面から取り組むべく平田篤胤『古史本辞経』について読解を試みる。

- 第9講（2021年6月11日（金））「グローバル・シナリオの世界4」
金融マーケットの当事者が発出しているポジション・トークの典型としての未来シナリオの例としてゴールドマン・サックス社による Insights から取り上げ、その真意と戦略について読み取る。
（参考：<https://www.goldmansachs.com/insights/>）

- 第10講（2021年6月18日（金））「我が国の近世思想4」

第 8 講に続き、平田篤胤『古史本辞経』について読解を試みる。

●第 11 講（2021 年 6 月 25 日（金））「グローバル・シナリオの世界 5」

いわゆるグローバル・アジェンダを表向き設定する役割を果たしている会議体の典型として世界経済フォーラム（WEF）を取り上げ、その未来シナリオに込められた真意と戦略について議論する。

（参考：<https://jp.weforum.org/reports/the-future-of-jobs-report-2020>）

●第 12 講（2021 年 7 月 2 日（金））「我が国の近世思想 5」

第 10 講で読み解くべく努力した平田篤胤の「音義説」について野口武彦『江戸思想史の地形』（ペリかん社）を輪読する。

●第 13 講（2021 年 7 月 9 日（金））「2021 年 S セメスター総括」

これまで 12 回にわたる講義・議論を踏まえ、学生の側より選定した追加的なテーマにつき議論を深めると共に、夏季休暇中のスクーリングについて予備的議論を行う。）

（※夏季休暇中にエクスカージョン（キャンパス外。京都等。）形式でのスクーリングの実施も検討する）

4. 連絡先

（1）講師：原田武夫 takeo.harada@haradatakeo.com

（2）TA：glu@haradatakeo.com

（3）学生代表者（サークル長/サブサークル長）：N. A.

（了）